

7月11日：VN指数は小幅安 (VN-Index -0.17%)

- VN 指数は寄り付き直後はもみ合い相場の中で小幅に上昇したが、次第に売りが優勢の展開となって下落し始めた。
- 不動産、金融セクターの上昇が影響し、指数は前日終値付近をわずかに上回る位置にとどまった。
- 後場でも前日終値付近をさまよっていたが、引けにかけて下落した。
- 銀行、情報技術、食品・飲料の下落が足を引っ張った。
- 198 銘柄が上昇、242 銘柄が下落、75 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 15%下落し、18.5 兆ドンとなった。

VN30 指数はまたしても市場を下回る下落 (VN-30 -0.36%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、8 銘柄が上昇し、18 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずであった。
- HDB (+1.40%)、SSI (+1.31%)、VIC (+1.23%)は好調であった。
- TCB (-1.51%)、MSN (-1.30%)、BVH (-1.07%)は一方で指数を押し下げた。

セクター・個別株の動き

- PHR (-2.56%)は 2024 年第 2 四半期の財務諸表を発表したが、結果はまちまちだった。売上高は前年同期比 10.7%増の 1,861 億ドンとなった一方で、前年同期に 680 億ドンの資産売却益を計上したため、純利益は前年同期比 77%減の 192 億ドンとなった。
- IMP (+6.86%)は、2 つの発行について株主の承認を求める決議を開示した。1 つ目は株主資本の増加を目的とした株式発行についてであり、もう 1 つは、主要役員に対する特別報酬の中止と、主要役員に対する株式発行プランへの置き換えを提案するものであった。

- 外国人投資家は 6740 億ドルの買い越し。HDB (+1.40%)、STB (0.00%)、SAB (-0.18%)はよく買われた一方で、最も売り越された FPT (-0.08%) に TCB (-0.65%)などが続いた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。